



社会福祉法人

群馬いのちの電話だより

(おなやみなら)

相談電話 027-221-0783

2021.6

Vol.68

編集/社会福祉法人群馬いのちの電話 広報委員会 住所/〒371-8691 前橋中央郵便局私書箱6号 電話/事務局 027-221-1880 FAX027-220-5666

群馬いのちの電話事務局長就任にあたり

～繋げてきて今コロナ禍に思うこと～

社会福祉法人群馬いのちの電話

事務局長 今井 洋

M高校の先輩O氏と母校の同窓会誌の改革を議論しているとき、O氏はふと、「世の中には今まで出会ったことのない思いもよらぬボランティア活動があるんだ。」と切り出しました。今から25年程前のことです。O氏は、いのちの危機に直面している方々の悩みを電話で聴いている活動があると言い、それを支えるのは自費で研修を受けた普通の人達で、それも無報酬の活動であるとも言います。「今井さん、(O氏は15歳以上もの後輩にも「さん」を付けて呼ぶ。)私は今この活動に係わっているが、貴方が一線を退いた時に究極のボランティアとも言われるこの活動を思い出したら是非協力して欲しい。」と。普段は穏やかだがこの時のとても熱っぽく、真剣な眼差しが脳裏に焼き付きました。しかしその後はO氏とこのボランティア活動の話をすることはありませんでした。

思い返すと私にとって大切な何人かの友人を失いました。20歳頃、共に人生を語り生涯付き

合うだろうと思った同級生が逝きました。人生の儚さ、無常を痛感した青年期のことでした。40歳頃、30代の職場の後輩で仕事に真摯に向き合い誠実に生きてきた男が大好きなA山に消えました。気づけなかった無力さ、遣る瀬無さを実感しました。50歳頃、事業立ち上げに共に精根を傾けた先輩でした。こんな理不尽な事があって良いものかと悔しくて沈み込みました。

私が職場を去った直後のある日、妻とオペラ鑑賞の為上京する車内で読む「新聞掲載の群馬いのちの電話相談員養成講座の案内を見たとき、なんとO氏との15年前の約束が蘇りました。当時は応募に65歳の年齢制限がありラストチャンスで、これが私のいのちの電話ボランティア活動のスタートです。

コロナ禍と呼ばれる現在、群馬いのちの電話の活動は試練を受けています。昨年から今年にかけて20名以上の相談員が退かれ、10数名が復帰できずにいます。理由は様々ですが、新型コ

ひとりぼっちで悩まずに……

相談電話 **027-221-0783**

(おなやみなら)

相談受付時間 午前9時～午前0時(年中無休)
毎月第2・4金曜日は24時間受信

ナビダイヤル

0570-783-556

受付 10:00～22:00
※有料

フリーダイヤル

(毎月10日)

0120-783-556

(8:00～翌8:00)

コロナウイルス感染症が影響していることは否定できません。この間、相談員の活動へのモチベーション維持は困難の極みに達しました。目指してきた24時間相談体制にも大きなダメージを与えましたし、一人担当も珍しくなくなりました。

一方で、昨年見送った今年度の相談員養成講座には例年より多くの資料請求などが届き、マスコミに依る有名人を含む自死者の増加報道等で私達の活動に関心を寄せて下さる方々が増えていると共に活動への評価を頂く結果にも繋がっていると実感しています。8月の応募期限に向け本格的な広報活動に力を与えて下さる関係者に感謝しています。

また、コロナ禍は私達の活動拠点にも難題を与えています。現在の活動拠点は〇氏が既に用途を終えた公施設の借用に奔走し一部改修して利用してきたものですが、経年に伴う事態に直面しています。現在この施設では電話相談活動を始め約160名の相談員が常に資質向上等の為に行う絶え間なき継続研修が行われています。さらに事業継続の為の新相談員養成は怠ることが許されませんので、外部施設の利用も不可欠ですが、コロナ禍による公共施設の利用制限が活動に多に影響しています。

ところで、コロナ禍は国民の働き方改革やICT革新としてのリモートでのテレワークやオ

ンライン会議・授業など日本での取組みの遅れが指摘されてきた分野への導入、急成長が求められていますが、私達が直面する施設の課題や相談員の減少、高齢化の対応に良い変化をもたらすかも知れません。具体的には相談活動拠点の分散・サテライト化や動画配信技術を駆使した研修や会議の多様化等で解決に有効ではないかと期待しています。

群馬いのちの電話は来年開局30周年を迎えます。全国の50局（センターとも言う。）が其々独自の生き立ちを持って地道な活動をしてきました。私達の「群馬方式」では理事会での基本計画決定後相談員による研修委員会を始めとする各委員会活動とそれを束ねる運営委員会により事業を推進してきました。コロナ禍以降に向けても理事との連携・責任役割分担、さらに活動資金調達等において様々な改革が期待されています。

私を群馬いのちの電話に導き繋げて下さった〇氏の思いに、期せずしてこの度の事務局長就任の形でお応えすることになりましたが、相談員の皆さんが一人一人の電話の声に丁寧に寄り添い傾聴出来る環境づくりに微力を尽くしたいと思います。おわりに、皆様のこの活動への物心両面のご支援を引き続き賜りたくお願い申し上げます。

資金ボランティアを募集しています

群馬いのちの電話では、この活動を理解して下さる方々からのご支援で成り立っています。

○維持会員／個人会員 A 2,000円、B 5,000円、C 10,000円

法人会員 D 10,000円、E 30,000円、F 50,000円、G 100,000円

○一般寄付／金額は限定いたしません。

○送金先／群馬銀行本店営業部（普通）1273883

東和銀行本店営業部（普通）283885

ゆうちょ銀行 郵便振替00520-9-42310

※当法人の寄付金については、社会福祉法人への寄付金として税制上の優遇措置があります。